

## 親鴨会 5月メッセージ 時空を超えて

人との出会いは偶然の積み重ねの結果だと、つくづく思います。小学校の同級生を始めとして、ずっと友として付き合い続けている仲間も、たまたまクラス替えで一緒になって苦楽を共にした体験が深い記憶と共感になって友情は醸成されていくのでしょう。

1990年代後半の3年間、APを兼務していた時の仲間の一人がJoeさんです。2000年問題の完結とともに私も仕事が変わり、彼もアメリカに戻りました。以後、対面のチャンスは有りませんでした。年一回のクリスマスカード兼年賀状のやり取りや、近況を伝えるメールのやり取りを細々と続けておりました。

そんな彼から、先月東京に旅行に行くのでランチを食べようというメールが来ました。そして、ほぼ四半世紀ぶりの対面をとあるレストランで果たしました。長い時を超えて、一年振りの様な感覚で握手が出来たのも共有出来た時間のお陰だと思えます。食事をしながらの2時間もあっという間に過ぎて行きました。

一つだけ問題があったのは私の英語で、20年近くまともな英語を話す機会もなく過ごしていたこともあり、時々話すべき英単語が浮んでこないことでした。

そんなことが有っても、お互い笑い合いながら今を語り合い、そして又明日も会うような感覚で握手をして別れました。心は時空を超えることが出来ると信じて。